



市立室蘭総合病院 広報誌

くじらんネット

病院の理念 おもいやりの心がかよう病院

病院の基本方針

- ・信頼される医療を持続的に提供します。
- ・自治体病院としての役割と責任を担います。
- ・経営の健全化と効率化に努めます。

からだの備え、していますか？

副院長 さ さ き けん いち
外科・消化器外科部長 佐々木 賢一



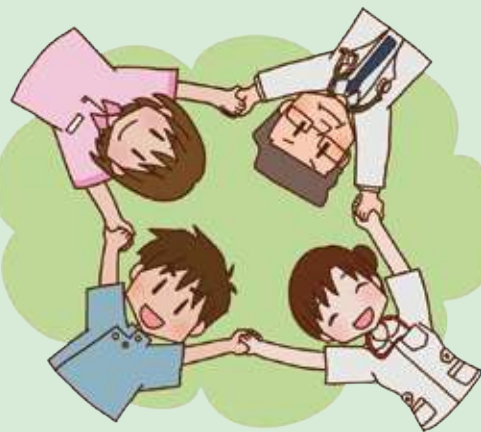
2001年に赴任して18年が経ち、本年7月に副院長を拝命しました。「おもいやりの心がかよう病院」を全職員が実践し、自治体病院としての責務をはたすべく尽力してまいります。どうぞ宜しくお願いします。

さて、先日、胆振東部地震から1年が経ちました。誰も想像だにできなかったブラックアウト。わたしたちの災害への備えの意識も変わりました。懐中電灯の備え、水の備蓄、などなど、あらためて「備え」の大切さを痛感した1年だったのではないのでしょうか。わたしたちのからだも同じといえます。備えが大切です。備えの一つに「けんしん」があります。健診と検診です。健診は健康診断のことで、健康であるかどうかを確かめるもの。検診は、特定の病気を早期に発見し、早期に治療することを目的としています。会社の「けんしん」は通常、健診です。健診だけでなく、検診を受けることをお勧めします。当院では、がんや脳疾患の早期発見のための「くじらん検診」を実施しています。ところで、日本では毎年100万人ががんにかかり、38万人ががんで亡くなると言われています。かかりやすいがんは、大腸がん(15万人)、胃がん(13万人)、肺がん(12万人)、乳がん(9万人)、前立腺がん(8万人)の順です。くじらん検診で、1日ドックコースを受けて頂ければ、この5つのがん全ての検診が可能です。

最後に、私が担当する外科・消化器外科の紹介です。王貞治さんが胃がんの手術を受けて話題となった、ふくくつきょう腹腔鏡手術。からだの負担が少ない手術として、当科でも、大腸がん・胃がんの患者さんに一早く2002年から導入し、現在までに800人以上の方に受けて頂きました。この10月、腹腔鏡手術機器を最新鋭の機器に一新します。今までもハイビジョンで十分きれいな映像でしたが、より鮮明な映像(4Kモニター)での手術が可能となります。くじらん検診で、万が一がんが見つかったときにも、これらの最新鋭機器が皆様のお役に立てると期待しております。

市立室蘭総合病院の

チーム医療



「チーム医療」とは、院内の様々な職種の職員が連携して1つのチームとなり、治療や支援を進めていくものです。様々な職員がそれぞれの専門スキルを発揮し、チーム内で情報を共有することにより、患者さんの状態に合わせた治療やケアを行っていきます。当院でも多くのチームが立ち上げられており、「おもいやりの心」がこもった質の高い医療が提供できるよう、日々活動しています。

Vol.4 緩和ケア・がん薬物療法チーム

がんは日本人の死因の中で最も多い病気で、2人に1人が「がん」になる時代と言われています。もしも「がん」になった時、病気に対する体のつらさ、不安や困りごとを和らげる治療やケアがあることを知っていますか？

当院では「緩和ケア・がん薬物療法チーム」がその役割を担当しています。医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・心理士・理学療法士・医療ソーシャルワーカーといった20名のスペシャリストが「がん」になっても自分らしく過ごせるようお手伝いさせていただきます。また安心した治療やケアが受けられるよう通院・入院・在宅療養等、どのような場面においても緩和ケアが届けられる準備も整えています。

どんな些細な事でもかまいません。遠慮なく相談してください。あなたや、あなたの大切な人にとってより良い方法が見つかるよう、お手伝いさせていただきます。

まずは主治医、看護師等、身近な医療者に相談してみませんか？

あなたの治療やケアに大切なものを一緒に探していきましょう。



緩和ケアチーム

主な活動内容

- ・ **通院時**：緩和ケア外来
毎週(火) 完全予約制です
- ・ **入院時**：緩和ケアチーム回診
火・金/週 病室へ訪問させていただきます
- ・ **在宅療養時**：
院内の訪問看護師とご自宅へ訪問させていただきます
- ・ **患者会**：「ひまわりの会」第3水曜13:30
- ・ **院内研修**：緩和ケアに関する勉強会

Vol.5 摂食・嚥下チーム

当院では、2019年9月から摂食・嚥^{えんげ}下チームを立ち上げ活動しています。

摂食・嚥下障害という言葉はあまり聞き慣れないかもしれませんが、簡単に言うと「何らかの原因でお口から食べ物を食べることが難しくなっている状態」です。

私たちが普段何気なく行っている「食べる」という行為は、まず食事を認識し、お口の中へ入れて咀嚼^{そしゃく}し、舌や喉を使って食道へ押し流すという一連の過程です。この過程のどこかに問題があると、食事を食べる意欲がなくなったり、水や食事が上手く飲み込めずむせてしまったり、時には誤って気管に入ってしまう肺炎や窒息を起こすこともあります。摂食・嚥下障害の原因としては、脳卒中などの脳血管疾患やパーキンソン病などの神経筋疾患が代表的なものです。認知症や舌がん、咽頭がん、頸部や口腔器官への外傷、薬剤の副作用など多岐にわたります。また、原因となる病気がなくとも加齢によって少しずつ飲み込みに必要な筋力は低下していくため、高齢の方は特に注意が必要です。誤嚥^{ごえん}が重度の場合には命に関わることもあるため、摂食・嚥下障害に対する治療は近年とても重要視されるようになってきています。

当院の摂食・嚥下チームには医師、摂食・嚥下認定看護師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が在籍し、それぞれの専門性を生かして患者さんの治療や、治療環境の適切化、摂食・嚥下障害に関する知識の啓発活動などに取り組んでいます。

まだ、設立したばかりのチームですが、患者さんや地域の皆さんの「食べる」を応援し、可能な限りサポートしていきたいと考えています。チーム一丸となり力を尽くしていきますので、よろしくお願いいたします。



摂食・嚥下チーム

市民公開講座のお知らせ

市立室蘭総合病院では、市民の皆様を対象とした市民公開講座を開催しています。参加は無料です。事前の申込も必要ありません。どうぞお気軽にお越しください。

「くじらん健康教室」開催スケジュール

1月「リハビリテーションのお話」

日時：1月23日(木) 13時30分～
場所：スーパーアークス室蘭中央店
3階カルチャーセンター
参加費：無料

3月「骨粗しょう症のお話」

日時：3月中
場所：スーパーアークス室蘭中央店
3階カルチャーセンター
参加費：無料

「がんサロンひまわりの会」を開催します

テーマ：知ればなるほど！くすりクイズ～薬についての正しい理解

日時：12月18日(水) 13時30分～
会場：市立室蘭総合病院 南棟2階 作業療法室・喫茶室
参加費：無料

「第39回クリスマスコンサート」を開催します

日時：12月23日(月) 18時30分～
会場：市立室蘭総合病院 1階ロビー
参加費：無料
出演者：室蘭市民オーケストラ、市立室蘭看護専門学院生徒



「年末年始の休診日のお知らせ」

●市立室蘭総合病院
12月28日(土)～1月5日(日)

市立室蘭みなと診療所
12月27日(金)～1月6日(月)

緊急の際は
市立室蘭総合病院
救急外来を
受診ください

10月に
着任
しました



麻酔科 医員
さいとう よしき
齊藤 慶樹 医師

新任医師のご紹介

12月に
着任
しました



消化器内科 医員
いちやなぎ あきこ
一柳 亜貴子 医師



市立室蘭総合病院 広報委員会

〒051-8512
室蘭市山手町3丁目8番1号
事務局総務課
TEL (0143) 25-3111 FAX (0143) 22-6867
<http://www.city.muroran.lg.jp/main/org8400/>